

平成22年3月26日

国立大学図書館協会  
会員館館長 殿

国立大学図書館協会 人材委員会 委員長  
京都大学附属図書館長  
藤井 讓治

図書館組織及び人事政策に関するアンケート調査結果報告等について

平素より人材委員会の活動にご理解・ご協力いただき、感謝申し上げます。

さて、本年1月にお願いしました標記アンケート調査結果をまとめましたので、添付の資料のとおりご報告いたします。

本調査については、年度末の限られた期間にも関わらず、大多数の会員館から真摯なご意見が多く寄せられました。調査結果からは、図書館組織の現状と図書館職員の人事政策に係る課題が読み取れます。各大学内のみでは対応できない、地区レベル・全国レベルで共同して取り組むべき課題も数多くあります。

については、本報告及び最近の当委員会の関連資料を学内での検討にご活用いただくとともに、特に図書館職員の確保・育成に係る諸課題について、各地区総会において議題の一つとして取り上げていただき、活発なご議論をお願いします。

人材委員会は、各会員館、各地区での検討、取り組みをもとに図書館職員の人事政策に係る提案をまとめていきますので、今後ともご支援のほど、よろしく申し上げます。

【添付資料】

(今回の報告)

- ・ 図書館組織及び人事政策に関するアンケート調査結果の概要
- ・ 図書館組織及び人事政策に関するアンケート調査集計

(最近の当委員会関連資料)

- ・ 大学図書館職員の役割 (平成21年2月)
- ・ 大学図書館が求める人材像について — 大学図書館職員のコンピテンシー — (平成19年3月)